

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																	
専門学校 岡山ビューティモード		平成14年3月29日		齋藤 修		〒700-0032 岡山県岡山市北区昭和町3-12 (電話) 086-214-2555																	
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																	
学校法人 貝畑学園		昭和58年3月3日		貝畑 雅二		〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-1-9 (電話) 086-230-0250																	
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																		
衛生	衛生専門課程	トータルビューティ学科 トータルビューティコース(ネイル)		平成17年文部科学省 告示第32号	---																		
学科の目的	ネイルの現場で有効な資格取得を目標とし、かつ美容業界で即戦力として活躍できるよう、ネイル分野にとどまらず、エステティックやメイクに関してもトータルに高い技術力と知識、接客業に役立つマナーなどを身につけた人材を育成する。																						
認定年月日	平成27年2月17日																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																
2年	昼間	1875時間	540時間	1215時間	0時間	0時間	120時間																
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																	
60人		10人	0人	2人	10人	12人																	
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各学期末実施の試験、および提出物、検定取得等の総合評価																		
長期休み	■学年始: 4月1日～4月9日 ■夏季: 7月15日～8月31日 ■冬季: 12月21日～1月7日 ■学年末: 3月16日～3月31日			卒業・進級条件	出席率80%以上、検定取得、および各学年における進級、卒業に必要な単位数を取得のこと																		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 主に担任による電話連絡および面談			課外活動	■課外活動の種類 グループホームボランティア(ネイル)																		
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) CoRte.株式会社			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)																		
	■就職指導内容 就職試験筆記対策、グループワーク指導、面接指導、学内企業説明会実施、企業紹介				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ネイリスト技能検定</td> <td>③</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>ジェルネイル検定</td> <td>③</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>ネイルサロン衛生管理士</td> <td>③</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	ネイリスト技能検定	③	3人	3人	ジェルネイル検定	③	3人	3人	ネイルサロン衛生管理士	③	3人	3人
	資格・検定名	種	受験者数		合格者数																		
	ネイリスト技能検定	③	3人		3人																		
ジェルネイル検定	③	3人	3人																				
ネイルサロン衛生管理士	③	3人	3人																				
■卒業生数: 3人 ■就職希望者数: 2人 ■就職者数: 1人 ■就職率: 50.0% ■卒業者に占める就職者の割合: 33.3%			※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																				
■その他 ・進学者数: 1人			■自由記述欄																				
中途退学の現状	■中途退学者 1名 平成28年4月1日時点において、在学者10名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者9名(平成29年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更			■中退率 10.0%																			
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有(無) ※有の場合、制度内容を記入 学力試験特待生制度・検定特待生制度・部活動特待生制度・貝畑学園経済支援制度 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象(非給付対象) ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有(無) ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																						
当該学科のホームページURL	URL:http://www.obcnet.ac.jp/obm/course/total.html																						

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

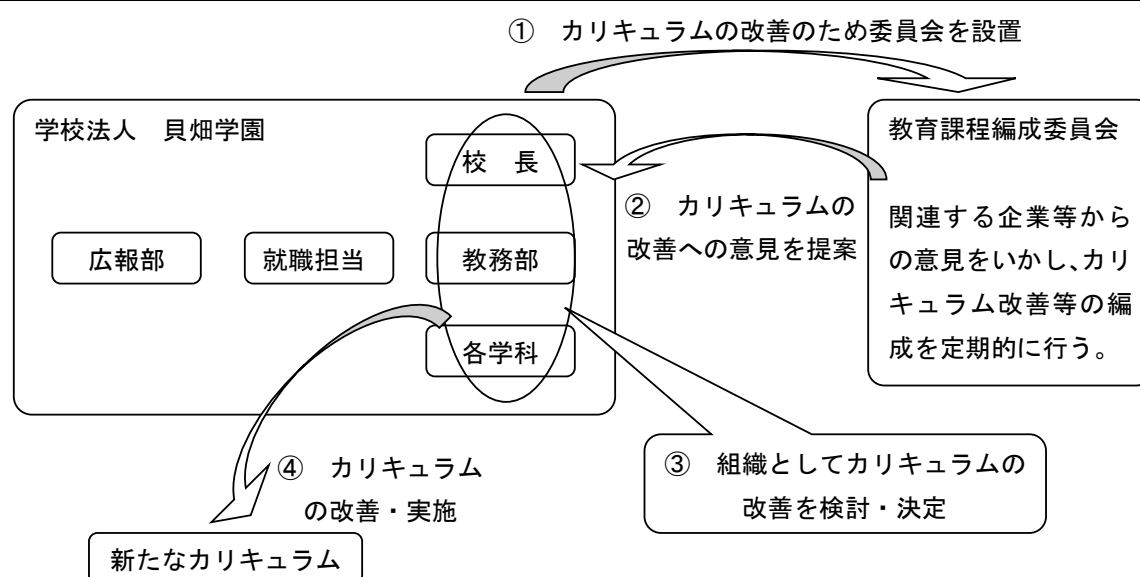
美容業界の進化し続ける技術の需要を背景に、この専門分野における実践的な知識・技術・技能の習得、また各種検定の取得を目指し、理論に基づいた技術の改善・習得を職業教育に関連した企業と組織的に連携し、授業科目の創設および既存科目の内容の改善・工夫を行うこととする。

校外実習、来客実習、ボランティアを通し、サロンでの接客マナーやより実践的な技術など現場を通し、企業と連携して指導して頂き、技術面および意識の向上を行う。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、企業等の要請を十分に生かしつつ実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施するために、学校法人貝畑学園において、編成委員会を教務部と別組織として編成し、この中にトータルビューティ学科編成委員会を置く。

まず、専攻分野に関する動向や新たに必要となる人材スキル等の情報を外部委員より頂き、この意見、要望を取り入れ教育課程の骨組み、および科目内容の詳細を各学科、教務部、校長を中心に、また、就職担当、広報部の意見も参考に検討し、改善、変更、追加科目等を詰め、作成した科目内容について、再度、検討協議し、次年度の教育課程に反映していく。



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
林 えり子	NPO法人日本ネイリスト協会 常任本部認定講師	平成28年5月10日～ 平成30年3月31日(2年)	①
池田 優子	Bridal Hair & Make Natal	平成28年5月11日～ 平成30年3月31日(2年)	③
生駒 都昭	内部委員 教務部長		
時實 好恵	内部委員 教務主任		
高淵 祐佳	内部委員 教務部		
白神 健一	内部委員 教務部		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

前期授業終了時(10月)、および後期授業が進んでいる(12月)に授業実績を基に見直し、検討を行う。但し、委員が早急に改善・検討が必要だと判断した場合には、随時、開催することとする。

(開催日時)

第1回 平成28年12月9日 10:00～11:00

第2回 平成29年11月21日 10:00～11:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

実習先が少ない事でスチューデントサロンのご提案をいただいたが、授業内にサロンワークという形で保護者の方、知人などに協力をお願いし、身近な方から継続的にお手入れをさせて頂いている。将来的にはスチューデントサロンのように外部の方のお手入れができるよう築き上げていきたいと思い、調査等を始めたが、皮膚トラブルの危険性、接客トラブルなどの事例もあり実現はしていない。お客様と対話する方法や、その商品やサービスを利用することでどのような結果が期待できるかなどの提案力を磨くため、接客ロールプレイングの時間を増やしている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

サロン業務に就いている兼任教員が実習指導にあたる。実習内容に即した校外実習、ボランティアの実施。技術レベルの証明となる検定試験の取得を目指す。また、化粧品メーカーやサロンへの就職に向けて、メイクアップ技術に加え、コンサルテーションスキルを持った人材の育成を目標とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

トータルビューティコースの担当教員と企業の講師により授業内容などの事前打ち合わせを行い、職場で必要な知識、技能の指導を行う。日々の指導においては担当教員と講師間で連携をとりながら授業運営を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ネイリスト検定3級対策	ネイリスト技能検定3級合格を目標に、ネイルケア、ネイルアートに関する基本的な技術及び知識を身に付ける。	(有)うるわし
ネイリスト検定2級対策	サロンワークで通用するネイルケア、リペア、チップラップ、ネイルアートに関する技術及び知識を身に付けネイリスト技能検定2級合格を目指す。	(有)うるわし
ジェルネイル基礎演習	ジェルネイルを施術するために必要な基礎的知識を習得し、ジェルネイル検定初級合格を目指す。	(有)うるわし
ネイリスト検定2級集中対策	ネイリスト技能検定2級合格を目指し、夏季休暇中に集中授業を行う。	(有)うるわし
カラーコーディネート	色彩の調和や配色、色彩心理などを学ぶ。	カラー・アロマセラピーサロン&スクール パステルカラー

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

本校、教育研修規定に基づき、メイクアップ、エステティック、ネイルの団体が主催する研修に参加し、業界の動向等の知識を習得し、学生への指導へと活かしていく。また、授業の進め方やコミュニケーション能力を高める研修を実施し、すべての教員が学生指導を行っていく上で必要な知識、スキルを習得する。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

平成29年3月4日(土)13:30~5日(日)14:50

実務技能検定協会主催 秘書検定およびサービス接客検定の準1級面接試験実施担当者資格研修会  
於ホテルニューアカオ(静岡県熱海市熱海1993-250)

参加者:時實好恵

【研修内容】

- ①面接試験実施における報告、留意点の確認
- ②秘書検定面接試験における係員・審査員徹底演習(ロールプレイング)
- ③秘書検定面接試験における評価・標語の研究(面接DVD視聴による評価基準の確認)
- ④サービス接客検定面接試験における係員・審査員徹底演習(ロールプレイング)
- ⑤サービス接客検定面接試験における評価・標語の研究(面接DVD視聴による評価基準の確認)

平成29年6月9日(金)12:30~16:50(4.5H) 於新梅田研修センター(大阪市福島区福島6-22-20)

JNA日本ネイリスト協会主催 衛生管理指導員フォローアップ講習会

参加者:時實好恵

【研修内容】

- ①気品表示法、個人情報保護法改正について
- ②著作権違反の事例説明
- ③ネイルサロンにおける衛生管理基準(目的、定義、施設および設備、自主管理体制、ネイルサービスをお断りする主な疾患、消毒法)に関する衛生管理指導員講習会テキスト改定説明

平成29年8月6日(日)13:30~17:00 (3.5H) 於:ビジョンセンター田町(東京都港区芝5-31-19)

JMA主催 全国合同講師会

参加者:中山いずみ

【研修内容】メイクアップ技能検定試験講習 千吉良恵子メイクセミナー

- ①メイクアップ技術検定試験実施における報告、評価基準の確認

- ②ヘアメイク選手権詳細説明
- ③メイクアップアーティスト千吉良恵子氏メイクセミナー  
秋冬トレンドメイクのデモンストレーションおよび質疑応答

②指導力の修得・向上のための研修等

平成29年3月24日(金) 9:30～12:00 (2.5H) 於:専門学校岡山ビジネスカレッジ 岩田町キャンパス 第1校舎  
 アンガーマネジメント研修「怒りや、イライラのコントロール」  
 社団法人 日本産業カウンセラー協会 中国支部  
 支部認定講師 秋鹿悦子  
 参加者:時實好恵

【研修内容】

混沌とした気持ちを整理したり、状況を客観的に見る力を育てることを通じて、  
 衝動性が高まって自分で沈静化し適切な表現や問題解決ができるような力を学ぶプログラム  
 1 「怒り」の感情とは？  
 2 「怒り」を冷静に見る  
 3 「怒り」をコントロールしよう

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

平成29年11月27日実施予定 13:30～16:30 (3.5H) 於:ビジョンセンター田町(東京都港区芝5-31-19)  
 日本エステティック協会主催 講習会  
 参加者:ルグラン美都子  
 【研修内容】「顔ヨガで印象・仕事力アップ！」～お客様に信頼される笑顔レッスン～

平成30年1月実施予定

JMA主催 メイクアップ技能検定試験学内講師資格取得研修  
 参加者:大島彩

【研修内容】メイクアップ技能検定指導実習及びティーチングテスト

②指導力の修得・向上のための研修等

平成29年11月実施予定 18:00～20:00 (2H) 於:専門学校岡山ビジネスカレッジ 岩田町キャンパス 第1校舎  
 教職員研修「発達障害を持つ(持つ疑いのある)学生への指導について」  
 万成病院 臨床心理士 黒田憲佐

【研修内容】

発達障害を持つ(持つ疑いのある)学生に対して、事前に教員が知っておくべき事、及び注意を必要とする指導等について、現状で指導に困っている事例を基に、今後どう対応するべきかを知り、また、教職員の共通認識を行う。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

毎年、年度末に行っている学内自己評価委員で作成している自己評価を基に、企業等の学校関係者委員と情報を共有し、点検・評価を行い、不備な事項についての改善、疑問点の解消を行うことで、自己評価の客観性・透明性を高めていきたい。

また、関連企業・病院、教育関係者や卒業生といった学校に関係する人たちに、学校を理解してもらう情報を発信し、学校だけでなく、互いに協力しながら学生のことを考え、それぞれの立場・視点に立って意見を出し合うことで、よりよい学校づくりを行っていく。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目的・育成人材等
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	教育成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の募集と受け入れ
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校と学校関係者間で情報を共有し、不備な点等の改善、疑問点の解消を行った結果を、情報公開することにより、関連企業・病院、教育関係者や卒業生といった学校に関係する人たちに学校を理解してもらい、学校と互いに協力しながら学生のことを考え、それぞれの立場・視点に立って意見を出し合うことで、よりよい学校づくりを行っていく。  
学生指導においては、指導記録をきちんと残し、担当教員だけでなく、全体での情報共有を行う。職業体験(インターンシップ)については、各コースで目的の再確認を行い、時期・日数等について検討を行う。ボランティア清掃活動等は、学校全体、各コースで今以上の参加を促す、また、参加機会を与えるなど後押しの出来る方法を検討していく。  
評価の高い項目については、学校の強みとして把握し広報活動等で有効に利用していく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年7月15日現在

名前	所属	任期	種別
穂山 晃治	株式会社アコービューティック 代表取締役社長	平成28年5月10日～ 平成30年3月31日(2年)	企業等委員
磯島 裕子	株式会社ティアラ 代表取締役社長	平成28年4月27日～ 平成30年3月31日(2年)	企業等委員
岡 謙治	パティスリー ポンム・ベール オーナーシェフ	平成28年4月7日～ 平成30年3月31日(2年)	企業等委員
河合 洋二郎	河合内科西口クリニック 院長	平成28年5月18日～ 平成30年3月31日(2年)	企業等委員
小山 泰弘	カイトック株式会社 人事部ゼネラルマネージャー	平成28年4月28日～ 平成30年3月31日(2年)	企業等委員
澤木 崇	ペットショップ chouchou 店長	平成29年5月29日～ 平成31年3月31日(2年)	企業等委員
杉井 正治	山陽事務機株式会社 営業課長	平成28年5月9日～ 平成30年3月31日(2年)	卒業生
谷川 安弘	創志学園高等学校 校長	平成29年7月7日～ 平成31年3月31日(2年)	校長

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) ( )

URL:http://www.obcnet.ac.jp/

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校自己評価の実施、学校関係者(関連企業団体、教育関係者、卒業生)による評価を実施、公表することにより、教育環境の整備、教育内容の充実、教育水準の向上にさらに努めていく。

情報提供は、ホームページ、パンフレット等で行うが、基本的にホームページから閲覧でき、内容の更新をきちんと行うことで、関連企業団体、卒業生、保護者等に学校のことを理解してもらう。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学園概要、沿革、基本方針
(2) 各学科等の教育	コース紹介
(3) 教職員	教員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	実践教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	教育活動
(6) 学生の生活支援	学生支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生募集
(8) 学校の財務	財務
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:http://www.obcnet.ac.jp/

授業科目等の概要

(衛生専門課程 トータルビューティ学科 トータルビューティコース (ネイル) ) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			エステティック理論Ⅰ	人の身体を施術する技術者に必要な知識を身に付ける。エステティックとは何か、関連法規を学ぶことにより、安全安心なエステティックとは何かを理解させる。	1前	15	0.5	○			○		○	○	
○			皮膚科学	施術する皮膚の構造や働きについて技術者に必要な知識を身に付ける。	1通	30	1	○			○		○	○	
○			解剖生理学	施術する身体の構造や働きについて技術者に必要な知識を身に付ける。	1後	15	0.5	○			○		○	○	
○			フェイシャルエステティック基礎演習	フェイシャルエステティックの基本的な流れ、ベーシックな技術を学習し、一つ一つの手技の意味を学習する。基本的なエステティック機器の使用法や目的、注意事項や禁忌事項を学ぶ。	1通	105	3.5	○			○		○	○	
○			ボディエステティック基礎演習	ボディエステティックの基本的な流れ、ベーシックな技術を学習し、一つ一つの手技の意味を学習する。マッサージの手法や目的、注意事項や禁忌事項を学ぶ。	1後	75	2.5	○			○		○	○	
○			化粧品学	化粧品の法律上の扱いや分類、取扱い留意点、そして化粧品の目的と機能、使用される主な原料などを学び、お客様に最適な化粧品をご提案するための知識を学ぶ。	1後	15	0.5	○			○		○	○	
○			メイクアップ基礎演習	メイク道具の使い方、メイク道具の手入れの仕方、スキンケアからベースメイクまで、メイクの基礎を一から学び、メイクアップ技能検定3級取得を目指す。	1前	90	3	○			○		○	○	
○			バリエーションメイクアップ	ベースメイクの質感をコントロールする力や、印象分析を踏まえたポイントメイクのバリエーションを学び、メイクアップ技術検定2級取得を目指す。	1後	90	3	○			○		○	○	
○			ネイリスト検定3級対策	ネイリスト技能検定3級合格を目標に、ネイルケア、ネイルアートに関する基本的な技術及び知識を身に付ける。	1前	90	3	△	○		○			○	○
○			ネイリスト検定2級対策	サロンワークで通用するネイルケア、リペア、チップラップ、ネイルアートに関する技術及び知識を身に付け、ネイリスト技能検定2級合格を目指す。	1通	120	4	△	○		○			○	○
○			ジェルネイル基礎演習	ジェルネイルを施術するために必要な基礎的知識を習得し、ジェルネイル検定初級合格を目指す。	1後	30	1	△	○		○			○	○

○		ネイリスト検 定2級集中対 策	ネイリスト技能検定検定2級合格を目指し、夏季休暇中に集中授業を行う。	1 前	15	0.5		○	○					○	○
○		エステティッ ク理論Ⅱ	肌トラブルの原因と改善方法を学ぶ。認定フェイシャルエステティシャン・認定ボディエステティシャン試験合格を目指す。	2 前	15	0.5	○		○					○	
○		エステティッ ク応用演習	お客様の要望に合わせて化粧品を選び、トリートメントを行う。フェイシャル、ボディのエステティック機器やフットの角質ケアについて学ぶ。	2 前	45	1.5		○	○					○	
○		メイクアップ 応用演習	メイク制作を中心とし、コンテストへの作品出品を行う。また、テーマ別メイク(和装メイク・浴衣の着付け・『喜』『怒』『哀』『楽』)を学ぶ。	2 前	45	1.5		○	○					○	○
○		ネイル 応用演習	1年次に取得した検定技術をベースに、ジェル、アクリルを使用した実践的なネイル技術を学ぶ。	2 前	45	1.5		○	○					○	
○		作品制作	自由な発想とテクニックで、ヘアやメイクでイメージを表現する技術を中心に学び、撮影やショーで「伝える」ための作品を制作する。	2 前	60	2		○	○					○	
○		衛生管理	エステティックサロン、ネイルサロンでのサロンワークに必要な衛生管理方法を学ぶ。	2 前	15	0.5	○		○					○	
	○	ジェルネイル 応用演習Ⅰ	ジェルネイル検定中級合格を目指し、ジェルグラデーション、ジェルフレンチカラーリング、ジェルイクステンション技術を学ぶ。	2 前	45	1.5		○	○					○	
	○	ジェルネイル 応用演習Ⅱ	ジェルネイル検定上級合格を目指し、ジェルチップオーバーレイ、ジェルデザイン技術を学ぶ。	2 後	45	1.5		○	○					○	
	○	アクリル基礎 演習	ネイル検定1級合格を目指し、アクリルを利用したスカルプチャネイル、チップ&オーバーレイ、ミックスメディアアート技術を学ぶ。	2 前	135	4.5		○	○					○	
	○	アクリル応用 演習	アクリル、ジェルを利用したサロンワークで必要なアート技術を学ぶ。	2 後	90	3		○	○					○	
	○	ネイルサロン ワーク	サロンでの業務を想定し、外部モデルをお招きし、受付から施術、お見送りまでのサロン業務を行う。	2 後	45	1.5		○	○					○	
	○	ネイル集中演 習	ジェルネイル検定中級合格を目指し、全工程トレーニングを行う。	2 前	30	1		○	○					○	
	○	ネイリスト検 定1級対策	ネイリスト検定1級合格を目指し、全行程トレーニングを行う。	2 後	45	1.5		○	○					○	



○	ヘアスタイリング	日常で活用できるヘアスタイルの基礎と、アップスタイルのベースを学ぶ。	2通	75	2.5	○	○	○											
○	POP	POP広告を作成できるよう、油性マーカーの使用方法を学ぶ。	2後	30	1	○			○										○
○	カラーコーディネート	色彩の調和や配色、色彩心理などを学ぶ。	1通	60	2	○					○								○ ○
○	フェイシャル画	各パーツを捉え、顔全体をバランスよく描くデッサンの基礎を学ぶ。	1後	30	1	○					○								○
○	接客マナー	企業で働く上で、社会人として身につけていることが望ましいマナーを身につける。	1通	30	1	○					○								○
○	サービス接客対策	サービススタッフとしての心構え、顧客心理などを学習し、サービス接客検定取得を目指す。	1通	45	1.5	○					○								○
○	サロン経営学	サロンを繁栄させるために必要な顧客獲得手法や従業員管理方法などを学ぶ。	2前	15	0.5	○					○								○
○	一般教養	漢字の読み書き、計算、一般常識などを学ぶ。	1前	15	0.5	○					○								○
○	就職ゼミ	就職内定に向け、面接試験や筆記試験に必要な知識を養う。	1通 2前	45	1.5	○					○								○
○	HR	SNS間でのトラブル回避方やコミュニケーション能力、協調性などを養う。	1通 2通	60	2	○					○								○
○	特別活動ゼミ	学内外における特別活動。(ボランティア、ショー、見学、校内コンテスト、健康診断、学園祭、運動会)	1通 2通	120	4	△					○	○	○	○	○				○
合計			36 科目			1875 単位時間( 62.5 単位)													

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
出席時数が出席すべき総時間数の80%以上であること、必要数の検定を取得すること、必要単位を取得すること。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。